



佐賀の参勤交代について調べるには



1. 所蔵図書で調べる

◆図書の一例◆

○『佐賀藩の総合研究 正』藤野 保／編 吉川弘文館 1981

【請求記号:S200.4/F62 所蔵場所:郷土資料室】

第三章に「幕藩関係—参勤交代を中心として—」を収録。佐賀藩主の参勤交代等一覧表、佐賀三支藩の参勤交代一覧表付き。※『参勤交代制の研究(四)』と同内容を含む。

○『参勤交代制の研究(四) 九州諸藩を中心として(3)』(「九州文化史研究所紀要」第二十三号)

○『参勤交代制の研究(五) 九州諸藩を中心として(4)』(「九州文化史研究所紀要」第二十四号)

丸山 雍成／著 九州大学文学部附属九州文化史研究施設 1978-1979

【請求記号:S051/KY9/23、24 所蔵場所:新庫】

(四)は2章構成で、寛永12(1635)年～19(1642)年段階の参勤交代制と佐賀藩について『勝茂公御年譜』『元茂公御年譜』などを基に詳細に考証する。また、佐賀藩が長崎警備を担当する任務を負ったことに伴い参勤交代が100日間に短縮されたことをそれぞれ史料に基づいて詳述する。巻末に佐賀藩主の参勤交代等一覧表(寛永13(1636)年<勝茂>～享保6(1721)年<宗茂>)付き。当一覧表は参府及び帰国の期日と経路がまとめられており参考資料となる。

(五)は行程、仕組、取締、状態の4章構成であり「坊所鍋島家文書」や「多久家文書」等をもとに考察。

○『参勤交代大名の本陣宿泊について』古賀 敏朗／著 (「西南地域史研究5」抜刷)

文献出版 1983 【請求記号:S205/K024 所蔵場所:新庫】

蓮池藩士重松家に伝来した文書をもとに蓮池藩の参勤交代について述べた論文。本陣の宿泊日が決まっても、川溜、風雨により藩の希望どおり本陣に宿泊できなかった事例を挙げ、以後の全宿泊所の交渉をやりなおさなければならなかったことを重松家文書の解読によって論じる。

○『佐賀県近世史料 第8編第3巻』佐賀県立図書館／編 佐賀県立図書館 2007

【請求記号:S200/SA15/8-3 所蔵場所:郷土資料室】

第8編第3巻収録の「石田私史」には、初代佐賀藩主鍋島勝茂の参勤交代の往復の記録あり。承応2(1653)年9月22日「参観」のため佐嘉城を発ち、11月6日に麻生屋敷に着くまでが収められている。また翌3(1654)年3月26日に麻生を発ち、4月29日に佐賀に到着している。この間ほぼ毎日記載があり、参勤交代の行路や止宿地、また当該領主との交際などが見て取れる。他に、第1編は佐賀藩主、第2編は小城藩主の年譜で、年譜には参勤交代時の事が断片的ながら含まれている。

○『肥前路を行く 平成18年度企画展』佐賀県立博物館／編 佐賀県立博物館 2006

【請求記号:S682/SA15 所蔵場所:郷土資料室】

長崎街道、唐津街道、秋月街道等主要街道(絵図)。参勤交代行列図及びシーボルトの『日本』に記載された行列図や日本人の姿が掲げられている。その他、文字資料として松平肥前守領内宿駅、佐賀県内を通ったケンペルや吉田松陰等の記述(口語に改めたもの)と地図(地名と日付けを付す)を掲載する。「鹿島藩参勤交代行列図巻」は参勤交代行列が絵として描かれるとともに、行程、従者の構成、持ち物等について書かれており貴重である。

裏面に続く

○『佐賀藩絵図方役石橋三右衛門の江戸往復旅行日記』 前山 博／著 2012

【請求記号:S200.88/MA28 所蔵場所:郷土資料室】

安永 2(1773)年から同 3(1774)年までの江戸に向かう目的や経緯を記す。11 月 12 日佐嘉を出立し 12 月 14 日江戸桜田屋敷参着、同 3 年 2 月 25 日江戸を出立し 3 月 26 日佐嘉参着までの道中の日記が中心である。日記筆者の石橋三右衛門は御絵図方附役で「背振山弁財嶽御裁許御絵図写(佐賀藩と福岡藩との境界論争に用いられた絵図)」を江戸に持参したときの記録。日記には期日、天気、行程(陸路・海路、旧所名跡、伊勢参拝)、一部であるが止宿先名(旅籠)、路銀等が克明に記されている。

○『長崎街道を行く』 松尾 卓次／著 葦書房 1999

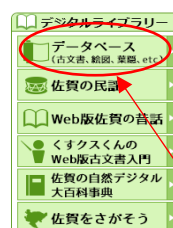
【請求記号:S685/MA85 所蔵場所:郷土資料室】

長崎矢上から黒崎小倉まで実際に歩いたときの記録を随筆風にまとめたもの。巻頭に「長崎街道全体図」あり。街道内それぞれの宿場ごとに歴史的な概要を記す。宿場によっては戸数及び旅籠の数、駅馬の数等を述べたところもある。また宿場付近の現在の地図や江戸時代の旅籠屋の屋号や宿所名についての記載も一部見られる。例えば「真光寺(神埼宿) p.117」「岡崎屋(中原宿)p.125」「薩摩茶屋(黒崎宿)p.178」など。なお、宿場によっては旅籠の写真が添えられているものがある。

2. 佐賀県立図書館ホームページで調べる <https://www.tosyo-saga.jp/>

○佐賀県立図書館データベース <https://www.sagalibdb.jp>

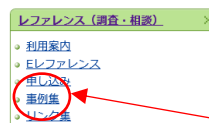
佐賀県立図書館が所蔵する資料等により制作したさまざまなデータベースを公開しています。キーワードで検索することができます。



○レファレンス事例集

<https://www2.tosyo-saga.jp/kentosyo2/reference/search.do?lang=ja/>

これまでに佐賀県立図書館で実際に受けたレファレンス(調査相談)の事例集です。事例キーワード「参勤交代」等で検索すると過去の事例を見ることができます。



郷土資料室の資料(郷土資料)のご利用について

◇開室時間◇

午前 9 時から午後 8 時まで

(資料調査室(鍋島家文庫の複製本があります)とマイクロフィルムの利用は午後 5 時まで(受付は午後 4 時 30 分まで))

- ・郷土資料(請求記号の頭に S または「鍋」「蓮」などの漢字が付く資料)は、貸出を行っていません。(一部の資料は貸出可の複製本があります)
- ・郷土資料は、郷土資料室内でご覧ください。
- ・資料保存のため、複写・閲覧できない資料があります。